

まき

発行所
西 蒲 原 郡
卷 町 中央 公民 館
編 集 人 北 川 郡 司
印刷所 北 洋 印 刷 株 式 会 社

一票に悔なさを 燃え上る公明選挙運動

五頃の政界の不明朗さや選挙にからまる好まぬ事象も起つていよいよ公明選挙推進の声を大にしなければならぬ段階に
来た。かねて漆山では青年団 婦人会がこの問題に強い関心を寄
せ座談会をしばしば催してきた。漆山公民館では今回この運動を
館の活動としてとりあげることにになり、去る二月二十三日青年団、
婦人会の積極的な後援のもとに討論会を開催した。
講師は選挙管理委員井田東一氏、教育委員樋浦直衛氏、司会漆山
青年団の田辺一彦氏である。
以下は当日の様相を要約したものである。

館長 荒れる天気の外 井田 自分の良心に従
多数の御参集を頂き有 つて投票すべきだ、政
離うございます。与え 党の政策を批判するに
られた選挙権の行使に は政治教育が先達しな
つては私が申し上げ ければむずかしい。人
るまでもなく、とかく 物についてもよく注意
買収や供応がともない していたり、あるいは
がちであります。今回 広報物、または立会演
もこの事例がありまし 説会に於て研究すれば
たが、如何にすれば清 よい。もう少し積極的
く行使できるか真剣に 有権者の政治意識を
考えてみたいと思ひ青 ためるため社会教育
年団、婦人会の後援を が大切である。情実や
得ましてこの討論会を 因習にとらわれること
催した次第であります なく自分達の属してい
司会 では本日の講師 る自治体をつくる一票
は選挙管理委員の井田 であると言ふことをよ
さん、教育委員の樋浦 く考へ自分達の幸福を
さんであります。 築くため、投票には慎

民の福利増進のため使
われるものであつて、
いやしくも汚れた行使
はなすべきでない。濁
りに濁り切つた今日、
いよいよ清い選挙が望
まれる。これからの青
年、婦人層の正しい認
識に期待するところが
大きい。
司会 周辺のことから
話し合ひを願います。
先般の町長選挙の時に
もいろいろ問題があり
公明選挙の看板が泣く
ようなこともあつたが
皆さんが実際に見聞し
たその中からでも御意
見、質問なりを出して
いたゞきたい。
○現に金を使つた人
が当選する。選挙民の
認識にもよるが、なぜ
だらうか正しい選挙は
結局候補者自身の自覚
を待つより外はない。
○選挙ボスをなくする
ことが公明選挙になる
のだと思う。
司会 金の問題が出ま
したが一体金はどのよ
うな形で流れるのでし
ようか講師にお聞き
たしましたよ。
井田 候補の参謀から
出るらしい。その金が
ある人から更に幾人か
の人へ渡されるようで
す。その金がどのよう
な経路で流れるか参謀
は問者に調べさせてい
るようです。くわしく
はよくわかりません。
樋浦 候補者の親類關
係を通じて流れるらし
いが詳しいことは私も
分りません。
司会 婦人会、青年団
でも政治教育をやつた
らどうか。政党的政策
など批判出来るところ
までいつたらどうか。
この点について講師は
どうお考えですか。
井田 政治活動は実施
に移すべきでない。智
識を得る程度に止むべ
きだと思ひます。
樋浦 青年団は政治団
体ではないと思ふ。政
治問題を研究すること
はよいが、活動をして
はならないと思ふ。
○選挙権の行使の問題
であるが共鳴する人が
なかつた場合棄権する
ことが正しいかどうか
井田 その場合自分が
その中で比較的理想と
する人を選ぶ様にす
るかよく分らない。選
挙の時いつも迷うが、
どうすればよいか。
司会 本当のことを今
云われましたが我々も
実際はよくわかつてい
ない。いつそくじを引
いたらという意見やい
ふ男の方へなど(笑聲
)という笑話もある。
○仮に主婦が一家の主
人に相談した場合、主
人が特定の候補者を支
持していれば、主人の
意見なりになりやすい

○私達は候補者の判断
によく迷うことがあり
ます。しかしこのよう
なことも今少し周囲の
ことに注意し研究する
意欲があれば思ふよう
にいかなくとも少しは
向上すると思ひます。
○私達は候補者を審判
する時とばかり勢い込
んでおられますが、逆な
面からみれば候補者か
ら有権者が審判される
と言ふことにもなる。
冷静に判断し、正しい
選挙権の行使こそ大切
であると思ふ。
○よいお話を伺いまし
た。こういう話を私は

聞きました。議員の在
職中の働きを見ていて
次の選挙に再び投票す
るかしないかを決める
一見定まつた考えや行
動がないようですが、
司会 よい意見を沢山
お聞せいたゞきました
「出たい人より出した
い人」で出した人が
出れる様な方向にす
みたい。近いうちに町
会議員の選挙が行われ
ますが、この時こそ青
年団、婦人会の試金石
です。一つ世間をあつ
といわせるような結果
にしたいと思ひます。

祝賀一色に彩る

— 新生巻町を記念 —

一月一日に誕生した
新生巻町の祝賀行事は
来る十七日から五日間
新巻町全地域にせまし
とばかり華麗なる祝賀
一色に彩どられる。主
な行事は次の通り。
▼日報巡回映画▼多加
良神社遷宮祭▼ラジオ
新巻公開録音▼全町児
童旗行列▼祝賀式典▼
巻音頭小唄発表▼武
道大会▼青年弁論大会
▼蜀鶏品評会及軍鶏斗
籠会▼菓子品評会▼物
産展示会▼広告山車コ
ンクール▼卓球、籠球
大会▼県下商工会大会▼

巻町章決る

かねて公募中の巻町
章は去る二月二十五日
メ切れた。



審査の結果仙台市の三
浦明氏のものが入選と
決定した。

▼選挙の
たび毎に
公明選挙
運動推進
が声を大
にしてい
ばれてい
ることは
民主國家として必らず
しも名譽なことではな
い▼わが郷土の民主政
治の基礎を築きあげる
選挙そのものが、より
公正により明朗に行わ
れることを、何人も期
待し、希望してると
いわねばならない▼公
明選挙をあいて唱いな
ければならない現実、
その公明の裏に不公明
な選挙が行われている
ことが想定されるから
である▼「公明選挙な
ど」言うだけ野暮さ
などと投げてしまわず
悲憤慷慨、今一歩つ
こんで考へて見ること
も必要ではないか▼こ
の町に於ては婦人会が
「べからず五ヶ条」を
以つて世人の良識に訴
えていたし、漆山に於
ても討論会を催して公
明選挙一本に徹しよう
と努力している▼にも
かゝらず公明選挙が
にが笑する結果に終つ
たことは残念である▼
よりよい目的のため「
何かする」事は何もや
らないよりは良い筈だ
地方選挙こそ大手を振
つて臨もうではないか



私はこう考える

新しい町長によりよい郷土建設のため是非やつてほしいもの(物心両面)について貴方のお考えをお聞かせ願いたい。

かくありたい

新町長に期待

鈴木 実 越前浜 一、すべての面で明るい町政。二、黒幕のロケット化しない町政。三、教育行政面では今までの学校教育偏重主義を排し、社会教育の予算を考案方を学校教育と併行して賡い度い。

は同じであらう。然し町民もその思いが同じでないなら、なぜ出来ないのだから、町の繁栄を期するならば、先づ平和に各々胸襟を開いて町政を話し合つて欲しい。昔から政治は器である民衆は水である故に丸い器に水をもれば民衆は丸くならぬ四角の器に水をもれば四角となる。

一、旧町村を限らずに視して新町の発展を明瞭に把握する事。二、旧町村の長所をみぬいて育成助長に努むること。三、旧町村単位で新町政を語る会合を持ち意志の疎通を計り異体旧心の協力態勢を確立すること。

二、新生巻町の一端、五ヶ峠のトンネル工事の促進。三、観光地浦浜に遊園地の設置及び観光客の誘致宣伝。四、産業の開発、例へば浦浜の漁業に最新の漁撈法等を漁業者との懇談会を開き研究を望む。

長谷川は松野尾公約を履行して下さい。感想 見をこなつた感謝 浦濱直衛 瀧頭 町合併の五ヶ年計画は是非実施されんことを望む。



青年学級

三月八日、竹野町分館に於いて、上原巻町教育委員、郡公連の齋藤会長の出席を願ひ、巻町地区中央学級の表彰式が行なわれた。

去る二月十九日、巻町青年学級の表彰式が行なわれた。この日は、巻町地区中央学級の表彰式が行なわれた。この日は、巻町地区中央学級の表彰式が行なわれた。

巻婦人会

去る二月十九日、巻町青年学級の表彰式が行なわれた。この日は、巻町地区中央学級の表彰式が行なわれた。この日は、巻町地区中央学級の表彰式が行なわれた。

松野尾公民館

去る二月十七日午後一時、松野尾公民館に於いて、松野尾公民館の職員による、松野尾公民館の職員による、松野尾公民館の職員による。

角田浜青年団役員決る

二月十九日午前九時、角田浜青年団の役員が決定された。この日は、角田浜青年団の役員が決定された。この日は、角田浜青年団の役員が決定された。

松野尾公民館

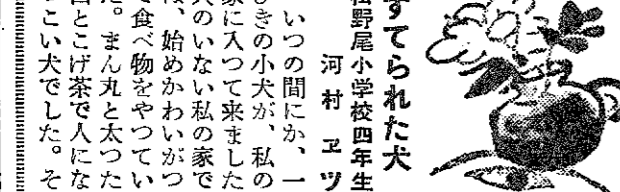
去る二月十七日午後一時、松野尾公民館に於いて、松野尾公民館の職員による、松野尾公民館の職員による、松野尾公民館の職員による。

浦濱婦人会

去る一月六日、浦濱婦人会の役員が決定された。この日は、浦濱婦人会の役員が決定された。この日は、浦濱婦人会の役員が決定された。

巻4H

去る二月二十一日、巻4Hの役員が決定された。この日は、巻4Hの役員が決定された。この日は、巻4Hの役員が決定された。



すてられた犬

いつの間にか、我が家の小犬が、私の家に入ってきた。これは、私の家の小犬が、私の家に入ってきた。これは、私の家の小犬が、私の家に入ってきた。

松野尾公民館

去る二月二十一日、松野尾公民館の役員が決定された。この日は、松野尾公民館の役員が決定された。この日は、松野尾公民館の役員が決定された。

松野尾婦人会

去る二月二十一日、松野尾婦人会の役員が決定された。この日は、松野尾婦人会の役員が決定された。この日は、松野尾婦人会の役員が決定された。



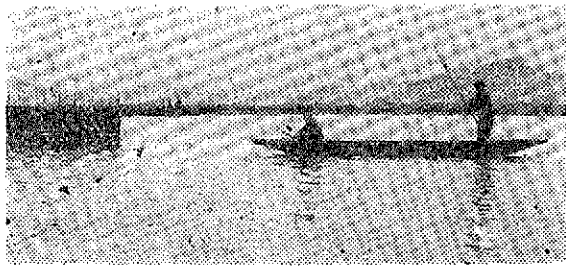
卒業生に期待する

漆山中学校長 小林 栄 一

資源がとほしく人が多すぎ知性が貧困であるために生活が混乱して行く。宿命的なものとはかくとしても社会の未開性をきり開くために進まない努力が続けられていっている。社会人としての高い知性をつけるために、われわれは社会機能のいづつかの窓から生きた社会の課題をとらえ、児童は児童として生徒は生徒ながらに解決させながら理解を深め技能を身につけ、これに勉める態度を養うことを念願して来た。新生巻町の誕生も歴史の流れから考えて必然的なものであるとも思うが教育の窓から卒業生に対して意図するものを挙げてみる。巻町地域が拡大されたために、以前の村々に見出された郷土愛の気持がうすくなるか、強すぎるために融合が全うされないか、又、共存の社会的責任を忘れ無関心勝ちになる傾向が起り易く、この際は非とも積極的な民主社会へ民主社会人としての参加と社会奉仕といった努力

が要請されると思う。次に経済事情の不如意から、一人の就職すら困難をきわめ、適格な地域計画がない限り農部地域に失業群が集中されるのが何われ、われわれはこれに対処して、とにかく就職に對する生き抜く意欲と力を要望して選職指導に當つて来た。更に産業形態の進展に伴う地域社会の変革は、よい意味もあるが、血縁とか地縁とかいう昔ながらの封建的な縁故関係から一歩進んだ職業的な縁故関係にひろがり自分と他人、自分の仲間と他人の仲間が、お互信頼しあい結びつきあつて行かなければならぬことが条件となつてくる。

以上、社会理想に裏づけられた解決しなければならぬ数多くの問題と取組んで、改善し発展させるために地域に貢献する卒業生を送り出したいと念願して



早春の鑑潟

鑑潟に風は風いでいた
早春の日ざしは湖面一杯
にさんさんと輝き、荒々
しい冬の足音は、北海の
彼方に遠のいた。
水辺ぐらゐ、最も鋭敏
に四季の変化を伝えてく
れるものはない。
澄み切つて、蒼みがが
つた秋の水とは違い雪融
水で濁つているが明るい
水影が、豊かにうらうら
と揺れている。

未だ葦は枯れたままに
一見うら淋しい風景であ
るが、よく見ると温くみ
初めた汀(みぎわ)のか
すかな影のうごきに、春
は既にここにやつて来た
感じである。
だが水上では、厳冬か
ら引つぐカンカンぽい
震状の網を水中に長く張
つて、舷などを叩いて魚
を追う漁法)の舟が四、
五艘出ている。静かな水

面を響くこの音は、牧歌
的である。
面積にして四百七十町
畝といわれている四季の
風物詩に富んだこの鑑潟
も近く国営干拓事業によ
つて美田と化すことにな
つてゐる。水と斗つて来
た浦原農民史の輝かしい
終止符がこの鑑潟の干拓
大事業なのだ。
進む土地改良事業に抗
する感傷は許されないで
あらう。
だが、治水の歴史が長
く、しかも苦悩に満ちた
ものであることを知つて
いる人々には多くの感懐を



(3)

意気盛ん

角田 浜青年団

去る三月六日午後一
時半より角田分校に於
て本年第一回弁論大会
を男子十名女子十二名
の参加を得て開く。聴
衆約一七〇人位、方法
として二〇才以下、二
一才以上に分れて審査
する。審査方法論旨五
〇点、態度、音声各二
五点

入賞者(二〇才以下)
一位 次代を背負う女
性の叫び 本間松枝
(十九才) 四五五点
二位 女性と教養
大越文子
(十九才) 三三五点
三位 公明選挙はこう
推進する 小川敏夫
(十九才) 三三〇点
三位 青年と読書

三ヶ字

表彰さる
ねずみ駆除実施によ
り西浦原郡十二ヶ所の
面を響くこの音は、牧歌
的である。
面積にして四百七十町
畝といわれている四季の
風物詩に富んだこの鑑潟
も近く国営干拓事業によ
つて美田と化すことにな
つてゐる。水と斗つて来
た浦原農民史の輝かしい
終止符がこの鑑潟の干拓
大事業なのだ。
進む土地改良事業に抗
する感傷は許されないで
あらう。
だが、治水の歴史が長
く、しかも苦悩に満ちた
ものであることを知つて
いる人々には多くの感懐を

祝賀辯論大会

中巻町では次の三ヶ字
が去る十日保健所より
表彰された。
松野尾地区新月
峰岡地区丹戸
漆山地区柿島

賀弁論大会は左記によ
り開かれられる。
▲農村生活の向上を期
せ 桑原藤一 峰▼私
も新しい町の一人とし
て 篠田キクノ 角▼
希望を持って 八尾坂絹
代 松▼新しい町造り
は相互の力で 齋藤和
子 角▼青年よ考えよ
大山信行 峰▼青年
と青年団の使命 山賀
幸子 松▼町村合併を

弔

喜ぶ私の考え 佐藤美
代子 角▼農村青年と
時間 小出文雄 松▼
農村婦人の改革 渡辺
トシミ 峯▼公明選挙
はこうして推進する
小川敏夫 角▼青年よ
発言力をもて 鈴木久
枝 松

伊藤 謙一氏 (〇)
福井 信夫氏 (四)
白崎 信夫氏 (四)
稲島 信志氏 (二七)
古俣喜与志氏 (二七)
卷十区 勝義氏 (二二)
齋藤 勝義氏 (二二)
布目 二月八日
加藤 キヨ氏 (四八)
卷二区 二月八日
岸本多三郎氏 (五四)
卷九区 二月十二日
伊藤 セツ氏 (七七)
漆山 二月十八日
近嵐新三郎氏 (四七)
松野尾 二月十八日
小林 トヤ氏 (七四)
卷一区 二月十九日
石田徳一郎氏 (六六)
角田 二月十九日
若杉 松市氏 (六六)
卷一区 二月二一日
遠藤 ハル氏 (七六)
五ヶ浜 二月二二日
池内 テヨ氏 (七三)
卷一区 二月二四日
青木 トク氏 (一九)
角田 二月二四日
成瀬 龍吉氏 (七一)
漆山 二月二六日
岡村貞三郎氏 (〇)
卷十区 二月二六日
齋藤 キク氏 (六五)
角田 二月二八日